

一 般 質 問



小川ひとみ 議員

問 国保病院の現状や今後の在り方をどう考えているのか。

答 新公立病院改革プランにより着実に取り組みを進めて行く。

な連携を考えているのか。

②町内には個人病院もありませんが、それぞれに役割があると思います。

入院施設があるのは、国保病院だけで、その役割は大きいと思いますが、町長として、その役割をどのように考えているのか。

③町民が病院に求めているものの一つは、専門医への受診の紹介です。

これは、地域医療の重要な役割です。

また、急性期病院では、手術等の処置が終われば、回復のための入院は地元にとまわっています。

回復やリハビリのための入院を地元でという希望。

終末期医療の受け皿になってほしいという希望をよく耳にします。

今後の医療従事者の確保と、町民の不安が少しでも解消される病院づくりを町長としてどのように考えているのか。

医師や看護師の求人においても、今金町はどのような病院づくりをしていきたいかというところが、大きなアピールにもなると思うが。

町長

①病院は、疾病や疾患に対して医療を提供し、患者を収容する病床を持つところであります。

その為に、医師や看護師など、様々な業務を担う職員の配置が必要になり、予防・病後ケア等を含めて、関係する機関との連携と協力体制を強化して、医療効果や病院の役割が高まるように努めてまいります。

②国保病院では、一般診療以外に、予防接種、健診、障がい・介護認定、学校健診、福祉施設の訪問診療などを担っていることから、その業務を個人病院が担うことの難しさもあり、更に、入院施設をもつことで、24時間体制の医師や関係職員の確保をする医療体制を整えており、今後、町の基幹病院の機能を確保してまいりたいと考えています。

③今金町国保病院は、急性期病院と位置づけられ、急性期の患者に対して、状態の安定化に向けた医療を行うところになっていきます。

内病院との病院連携に基づき、専門医等紹介と依頼をしております。

回復期の治療やリハビリテーション治療が十分に行える機能が国保病院に備わっていないことや在院日数などの様々な要因により、希望に応えられないことも認識していますが、二次医療圏、三次医療圏における病院連携ネットワークなどを通じて、改善が図られるよう国保病院と協議してまいります。

今年3月に作成した「新公立病院改革プラン」において、新たに取組む視点の整理をしたところであり、様々な観点からいただいた質問に答えられるように、再編・ネットワーク検討や地域医療連携への取組みと診療体制の方向性を定めたことから、着実に取組みを進めてまいります。

小川議員

最後になりますが医師や看護師不足がずっと続いている現状です。

新公立病院改革プランの中では病院の規模の縮小も検討課題になっております。

病院がどう変わって行かなければいけないかを町民も一緒に考えて作り上げていく必要があると思いますが、町長の考えは。

町長

解決策の1つの要素というのは、医者、看護師問わず、今の体制の中で病院機能を果たせる仕組みを活かして、病院の大切さを分かってもらえる事から始めていかなければならないと思います。

また、仕事だけでは無く、普段の生活を楽しめる事や地域に係れる環境も必要かなと思います。

働きやすい地域・環境づくりに向けた努力もこれからしてまいりたいと思います。

